

令和7年度

[旧 卒後研修]

都歯ハンズオン研修

受講者募集案内

—良質な歯科医療を提供し続けるために—

令和7年6月22日(日)～9月28日(日) 開催

全
20
講座

最新の設備が整った大学施設での研修

親身なインストラクターによる実習

苦手な分野のスキルアップ

新しい技術の習得

歯科医師
対象

申込期間▶令和7年4月1日(火)～5月16日(金)

お申込みと研修実施内容の詳細はこちらから



注 意 事 項

1. 費用は、受講料（1講座につき）東京都歯科医師会 会員の方：15,000 円／会員以外の方：50,000 円 および実習材料費（各講座ごとに異なります）となります。
2. 申込締切後（当選後）は、取消し（キャンセル）はできません。欠席の場合でも受講料および実習材料費をご負担いただきますのでご了承ください。
3. 原則、昼食のご用意はありません。但し、ランチョンセミナー付きの講座については、昼食のご用意がありますので、3ページ以降の卒後研修実施内容および開催（当選）通知をご確認ください。

主催 公益社団法人東京都歯科医師会

協力 東京歯科大学／日本歯科大学／日本大学／東京科学大学／昭和医科大学

目 次

都歯ハンズオン研修 受講者募集のご案内	1
都歯ハンズオン研修 申込書	1
都歯ハンズオン研修 実施日程	2
都歯ハンズオン研修 実施内容（各大学4講座）	3
1. 東京歯科大学	3
2. 日本歯科大学生命歯学部	5
3. 日本大学歯学部	7
4. 東京科学大学	9
5. 昭和医科大学	11

○ 都歯ハンズオン研修 開催日カレンダー ○

※太枠の○-○は申込番号となり、研修内容の詳細は2ページ以降をご覧ください。

申込番号 東歯大：1-○ 日歯大：2-○ 日大：3-○ 科学大：4-○ 昭和医科大：5-○

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
4-1						
29	30					
1-1						

7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
				5-1		
6	7	8	9	10	11	12
3-1				4-2		
13	14	15	16	17	18	19
3-2				4-3		
20	21	22	23	24	25	26
1-2				3-3		
27	28	29	30	31		
1-3				2-1		

8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
2-2				2-3 4-4		
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
5-2						
31						
5-3						

9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
				3-4		
7	8	9	10	11	12	13
2-4						
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
1-4						
28	29	30				
5-4						

令和7年度 都歯ハンズオン研修受講者募集のご案内

(旧卒後研修)

1. 研修時間 午前10時～午後5時
2. 申込期間 令和7年4月1日(火)～5月16日(金)まで ※定員超過の講座は抽選。
なお、定員未滿の講座は5月30日(金)まで申込みを受けけますので、お問合わせ下さい。
3. 申込方法 下記QRコードよりお申込み下さい。または、下記申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。
本研修は、本会公式アプリ「都歯オンライン研修」からも申込ができます。東京都歯科医師会会員の方は、スマホより「都歯オンライン研修」アプリをダウンロードして下さい。
4. 費用 受講料(1講座につき) 東京都歯科医師会 会員の方：15,000円
会員以外の方：50,000円
実習材料費は、各講座ごとに異なります。
5. 支払方法 本会から、受講料および実習材料費の払込票を開催(当選)通知と併せて送付しますので、コンビニより6月13日(金)までに必ず納入下さい。(振込み手数料は本会負担のため無料)
6. 受講取消(キャンセル) 申込締切後(当選後)は、取消し(キャンセル)ができません。欠席の場合でも受講料および実習材料費をご負担いただきますのでご了承下さい。欠席する場合、以下のお問合せ先にご連絡下さい。
7. 日歯生涯研修 一日受講した場合、特別研修(10単位)に加え受講研修(12単位)に該当します。
8. 昼食 原則、昼食の用意はありません。但しランチョンセミナー付きの講座については、昼食の用意がありますので、3ページ以降の都歯ハンズオン研修実施内容および開催(当選)通知をご確認下さい。
9. お問合せ先 公益社団法人 東京都歯科医師会・学術担当
〒102-8241 東京都千代田区九段北4-1-20 歯科医師会館3階
TEL. 03-3262-1149/FAX. 03-3262-4199



公益社団法人 東京都歯科医師会・学術担当 行
FAX. 03-3262-4199

令和7年度 都歯ハンズオン研修 申込書

ふりがな			〒	-
氏名	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 会員以外	医療機関 住 所		
地区 (都歯会員のみ記入)	歯科医師会			
医療機関 電 話	-	医療 機関名		

1. 受講希望の申込番号・開催日をご記入下さい。
2. 申込講座数に制限はありませんが、同一日に複数開講の場合、1講座のみの申込みとなります。
3. 記載の氏名・所属地区名のみ担当講師に提供し、受講者名簿は研修当日に配布いたします。

	申込番号	開催日		申込番号	開催日
1 講座	-	月 日	10 講座	-	月 日
2 講座	-	月 日	11 講座	-	月 日
3 講座	-	月 日	12 講座	-	月 日
4 講座	-	月 日	13 講座	-	月 日
5 講座	-	月 日	14 講座	-	月 日
6 講座	-	月 日	15 講座	-	月 日
7 講座	-	月 日	16 講座	-	月 日
8 講座	-	月 日	17 講座	-	月 日
9 講座	-	月 日	18 講座	-	月 日

都歯ハンズオン研修 実施日程

(開催日順・敬称略)

申込番号	開催日	研修テーマ	大 学	講 師	実 習 材料費
4-1	6月22日(日)	全部床義歯の基礎からインプラントオーバーデンチャーまで	東京科学大学	金澤 学 教授	10,000円
1-1	6月29日(日)	こんな時どうする？誰でもわかる緊急時の対応法 歯科治療時の全身偶発症 ～緊急対応トレーニング～	東京歯科大学	一戸 達也 教授	3,000円
5-1	7月3日(木)	有病者の歯科治療におけるポイントと医療連携	昭和医科大学	マイヤース三恵 准教授	5,000円
3-1	7月6日(日)	ペリオドンタルフラップマネージメント (フラップ手術から再生療法まで)	日本大学歯学部	佐藤 秀一 教授	20,000円
4-2	7月10日(木)	外来と訪問をつなぐ摂食嚥下リハビリテーションの実践知	東京科学大学	戸原 玄 教授	10,000円
3-2	7月13日(日)	明日から応用できる最先端エンドドントロジー	日本大学歯学部	武市 収 教授	20,000円
4-3	7月17日(木)	パーシャルデンチャーの基本設計	東京科学大学	笛木 賢治 教授	10,000円
1-2	7月20日(日)	アライナー矯正とアンカースクリューを用いたリカバリー	東京歯科大学	西井 康 教授 笠原 清弘 准教授	20,000円
3-3	7月24日(木)	超初心者のための安全・確実なインプラント治療 ～術前検査から外科・補綴手技の基本術式を学ぶ～	日本大学歯学部	萩原 芳幸 教授	20,000円
1-3	7月27日(日)	デジタルデンティストリーで行うメタルフリー補綴治療	東京歯科大学	関根 秀志 教授	20,000円
2-1	7月31日(木)	根拠に基づく最新の歯周治療	日本歯科大学	沼部 幸博 教授	20,000円
2-2	8月3日(日)	デジタル MI 最前線 ～次世代補綴コンセプト～	日本歯科大学	新谷 明一 教授	20,000円
2-3	8月7日(木)	口腔外科小手術 ～温故知新～	日本歯科大学	里見 貴史 教授 澁井 武夫 教授 松野 智宣 教授	15,000円
4-4	8月7日(木)	サージカルガイドを用いた安心・安全なインプラント埋入	東京科学大学	丸川恵理子 教授	20,000円
5-2	8月24日(日)	ベーシックエンドを再考する –再根管治療の勘どころ–	昭和医科大学	鈴木 規元 教授	20,000円
5-3	8月31日(日)	臨床上重要となる口腔解剖学の再確認	昭和医科大学	野中 直子 教授	1,000円
3-4	9月4日(木)	顎関節症の各病態に対する適切なアプローチ	日本大学歯学部	野間 昇 教授 松本 邦史 准教授	5,000円
2-4	9月7日(日)	顎関節症治療の世界ランキング上位4種を 知る！体験する！医院展開する！	日本歯科大学	岡田 智雄 教授 原 節宏 准教授	5,000円
1-4	9月21日(日)	実習で習得する 口腔機能検査・口腔機能管理と栄養指導・食事指導	東京歯科大学	上田 貴之 教授	8,000円
5-4	9月28日(日)	現代のインプラントトラブルのリカバリーと予防策	昭和医科大学	宗像 源博 教授	20,000円

- ※ 受講料 (1 講座につき)：東京都歯科医師会 会員の方：15,000円／会員以外の方：50,000円
- ※ 実習材料費は、各講座ごとに異なります。
- ※ 申込締切後(当選後)は、取消し(キャンセル)はできません。欠席の場合でも受講料および実習材料費をご負担いただきますのでご了承下さい。
- ※ 開催場所、事前提出物、当日持ち物等の詳細については、開催(当選)通知にてご案内致します。

1. 東京歯科大学

■ 歯科麻酔学講座 申込番号：1-1

1. 期 日 令和7年6月29日(日) 午前10時～午後5時
2. 研修テーマ **こんな時どうする？誰でもわかる緊急時の対応法**
歯科治療時の全身偶発症 ～緊急対応トレーニング～
- 内 容 (1) 全身偶発症の診断と対応(講義)
 (2) 救急薬品の使用法(講義)
 (3) バイタルサインの確認(実習)
 (4) 生体情報モニタの操作法(実習)
 (5) 筋肉注射(実習)
 (6) 全身偶発症の症例検討(実習)



一戸教授

3. 研修の特徴 超高齢社会を迎えたわが国では、歯科治療に関連した全身偶発症の発症リスクが高まっています。歯科治療中に患者さんの具合が悪くなることは、決して珍しいことではありません。そのような時には迅速な診断と対応が重要になりますが、全身偶発症は毎日起こるものではないので、普段からトレーニングをして準備しておかないと、いざという時に冷静な対応をすることが難しくなります。

そこで本研修では、前半部分で全身偶発症の診断から対応までの流れについて、救急薬品の使用法も含めて解説します。後半部分では、生体情報モニタを使用したバイタルサインの評価法や、筋肉注射について実習します。また、プロジェクターの画面に生体情報モニタの画面を提示し、動画として刻一刻変化するバイタルサインを確認しながら全身偶発症を診断し、対応を考える症例実習を当講座で制作した全身偶発症診断・対応ツールを用いて行います。

4. 実 習 ①生体情報モニタ(血圧計、心電図、パルスオキシメーター)の操作法
 ②筋肉注射
 ③全身偶発症の診断と対応を考える症例検討

5. 実習材料費 3,000円

6. 担当者 一戸 達也教授および講座員

7. 受講定員 42名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 3403, 3498

■ 歯科矯正学講座 申込番号：1-2

1. 期 日 令和7年7月20日(日) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き
2. 研修テーマ **アライナー矯正とアンカースクリューを用いたリカバリー**
- 内 容 (1) 歯科矯正メカニクスの基礎
 (2) アライナー矯正治療の基本
 (3) アライナー矯正治療のリカバリー
 (4) 歯科矯正用アンカースクリューの特徴と植立時の診断
 (5) アンカースクリューを使用したMTM



西井教授

3. 研修の特徴 近年の矯正治療ではアライナーを用いた矯正治療が注目されています。アライナー矯正治療は、ブラケットの代わりに透明なマウスピースにより歯を移動させる方法です。この方法は患者さんにとって歯ブラシなどメンテナンスの軽減や、何よりも見えないという大きな利点があります。歯科医側にとっても在庫管理や毎回の調整時間の軽減等の利点があります。しかしながら、まだ新しい装置であるため歯の移動のメカニクスや限界なども十分にはわかっていません。また、ワイヤー矯正治療であろうとアライナー矯正治療であろうと、診断・治療方針には変わりはありません。現在様々な経験やデータが蓄積されており、アライナー矯正装置の特徴が徐々にわかりつつあります。その中で、ワイヤーによるリカバリーテクニックの必要性も明らかになってきました。

本研修ではアライナー矯正治療の基礎的知識、適応症及び診断についてそして起こりうる問題点の講演と状態からのアンカースクリューを用いたMTMによるリカバリーについて実習させていただきます。

4. 実 習 ①歯科矯正用アンカースクリュー植立実習
 ②大白歯アップライトMTM実習

5. 実習材料費 20,000円

6. 担当者 西井 康教授, 笠原 清弘准教授および講座員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2905, 2998

■ クラウンブリッジ補綴学講座 申込番号：1-3

1. 期 日 令和7年7月27日(日)午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き

2. 研修テーマ デジタルデンティストリーで行うメタルフリー補綴治療

- 内 容
- (1) 変化する社会状況に対応する補綴歯科治療 (講義)
 - (2) デジタル技術の臨床応用 (講義)
 - (3) メタルフリークラウンの支台歯形成 (実習)
 - (4) 口腔内スキャナーを用いた印象採得 (実習)
 - (5) CAD/CAM 冠の調整・レジン接着 (実習)



関根教授

3. 研修の特徴 金属アレルギーの問題や金属価格の高騰などで、金銀パラジウム合金を中心とした従来からの歯科補綴装置からメタルフリー修復へ移行が進んでいます。本研修では、最も一般的となったCAD/CAM 冠製作のデジタルワークフローを学修し、トラブルになりにくい固定性補綴診療の流れを学びます。また、現在も開発・発展が進んでいるレジンやセラミック材料の特性を学び、マテリアルセレクションの基準を確認します。さらに、歯根破折や冠脱落などを防ぐための、確実な補綴装置の試適・調整加えて適切な接着技法を解説します。

実習では、マネキンに装着した顎模型に対してメタルフリークラウンにふさわしい支台歯形態を実現する支台歯形成法をトレーニングし、その支台歯の光学印象を行います。また、完成した冠の調整、接着前処理から装着までの流れを学修します。

4. 実 習
- ① マネキンに装着したエポキシ顎模型に対するメタルフリークラウンの支台歯形成
 - ② 支台歯形成した顎模型の口腔内スキャナーによる光学印象
 - ③ CAD/CAM 冠の調整・研磨・接着操作

5. 実習材料費 20,000円

6. 担 当 者 関根 秀志教授および講座員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2601, 2698

■ 老年歯科補綴学講座 申込番号：1-4

1. 期 日 令和7年9月21日(日)午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き

2. 研修テーマ 実習で習得する口腔機能検査・口腔機能管理と栄養指導・食事指導

- 内 容
- (1) オーラルフレイル・口腔機能低下症の患者への説明の仕方 (講義)
 - (2) 口腔機能低下症の検査法とコツ (講義・実習)
 - (3) 補綴診療での口腔機能検査の活用法 (講義)
 - (4) 口腔機能管理の外来への導入方法と保険算定の実際 (講義)
 - (5) 口腔機能管理の指導方法 (講義・実習)
 - (6) 歯科医師・歯科衛生士が実践する栄養指導・食事指導 (講義・実習)



上田教授

3. 研修の特徴 口腔機能低下症が公的医療保険に導入されてから約7年が経過しましたが、実際に診療に取り入れて、口腔機能管理を継続的に行っている方はまだ多くないのが現状です。

- ・患者への検査の勧め方に苦勞している
 - ・検査結果を見ても何をしてよいかわからないので、患者に説明ができない
 - ・口腔機能管理の指導方法がわからない、いつも同じ指導になってしまう
- といった点が、導入のハードルになっているのではないのでしょうか。

そこで今回のハンズオン研修では、口腔機能検査の方法やポイントについて実習で理解を深めるだけでなく、患者さんへの説明の方法についても解説を行います。

加えて、口腔機能管理を行う上で欠かすことができない、栄養指導・食事指導を行うために必要な栄養評価の方法や指導方法についても解説いたします。明日からチェアサイドで活用できる内容を用意して皆さまのご参加をお待ちしております。

4. 実 習
- ① 口腔機能低下症の検査と診断
 - ② 管理計画の作成, 口腔機能管理
 - ③ 栄養評価・栄養指導・食事指導

5. 実習材料費 8,000円

6. 担 当 者 上田 貴之教授および講座員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 3406, 3498

2. 日本歯科大学 生命歯学部

■ 歯周病学講座 申込番号：2-1

1. 期 日 令和7年7月31日(木) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き
2. 研修テーマ **根拠に基づく最新の歯周治療**
内 容 (1) 歯科用レーザーの概念と使用法
(2) 超音波スケーラーの概念と使用法
(3) エアーポリッシングデバイスの概念と使用法
(4) 歯周組織再生療法に必要な診断技術と治療技術
3. 研修の特徴 現在、歯周治療のガイドラインが提示され、歯周治療の基本的な流れに沿った保険診療が行われている。しかし、近年様々な歯周治療のオプションが出現し、我々は症例に応じてそれらを選択可能となっている。例として歯科用レーザー、新たな概念が加わった超音波スケーラー、歯肉縁下に適用するエアーフロー、歯周組織再生に用いる薬剤などがある。
それらは、その背景にある科学的根拠を理解して使用すれば歯周治療の効率を上げ、治療効果を高め、より良好な歯周病の治療や予後を獲得することが可能となる。
本研修では、あらためて現在の歯周治療の流れを振り返るとともに、各治療の分岐点でそれらを活用する知識と技能を、講義・実習を通じて修得していただく予定である。
4. 実 習 ①歯科用レーザーによる歯石除去、歯肉切開など
②超音波スケーラーの正しい使い方
③エアーフローの概念と活用
④新型治療器材の紹介
⑤歯周組織再生療法に必要な診断技術と治療技術
⑥症例検討
5. 実習材料費 20,000円
6. 担 当 者 沼部 幸博教授および講座員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2504, 2598



沼部教授

■ 歯科理工学講座 申込番号：2-2

1. 期 日 令和7年8月3日(日) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き
2. 研修テーマ **デジタル MI 最前線 ～次世代補綴コンセプト～**
内 容 (1) デジタル MI に寄り添った補綴コンセプト (講義)
(2) デジタル MI 歯冠修復の最前線 ～オクルーザルベニアの概要と臨床～(講義)
(3) CAD/CAM 用材料の現状と将来展望 (講義)
(4) デジタル時代を乗り越えるための補助器具たち
(5) デジタルに寄り添った接着 臨床でのポイント (講義)
(6) オクルーザルベニアの支台歯形成 (講義・実習)
3. 研修の特徴 デジタルデンティストリーはその中心を担っていた CAD/CAM から、口腔内スキャナーや検査・診断法を含んだ、総合的なシステムへの変革を成し遂げ、いよいよチェアサイドにおける臨床術式までも大きく変えようとしています。そのため我々はそれらに対応した知識が求められています。歯科治療の基本概念となった MI も考慮すると、欠損に対し最小限の切削量で対応できる歯冠補綴の知識も必要となります。近年、最小限の歯質削除量で歯冠修復が可能となった次世代の部分被覆冠として“オクルーザルベニア”に注目が集まっています。オクルーザルベニアは口腔内スキャナーに代表されるデジタル機器との相性も良く、これから主流となる歯冠修復装置です。また、接着カンチレバー装置も保険導入されたことから、これら新しい装置への知識が求められます。
そこで、本研修ではデジタル MI 最前線・次世代補綴コンセプトと題し、適応から、材料選択、支台歯形成、接着理論までを紹介させていただきます。
4. 実 習 ファントムを用いてオクルーザルベニアの支台歯形成を行う
5. 実習材料費 20,000円
6. 担 当 者 新谷 明一教授および講座員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2610, 2698



新谷教授

■ 口腔外科学講座，附属病院口腔外科 申込番号：2-3

1. 期 日 令和7年8月7日（木）午前10時～午後5時 ※ランチオンセミナー付き

2. 研修テーマ 口腔外科小手術 ～温故知新～

- 内 容 (1) 難抜歯手技の実践
(2) 止血法の実践
(3) 軟組織損傷に対する治療の実践
(4) 薬物療法についての最新知見

3. 研修の特徴 本研修はハンズオンが中心のコースです。口腔外科手術，特に難抜歯，止血法および軟組織損傷を極めて頂くことを目的としています。

口腔外科小手術の手技自体は完成されたものであり，長年，大きな変化はありません。しかしその分，日常臨床で実践していくためには基本をマスターしておく必要があります。例えば抜歯術は，骨の削合・歯の分割の判断のタイミングや精緻な手技を習得していれば，症例の幅が広がります。また，止血法は，いざという時の対応を習得していれば，安心感のある手術が可能になります。さらに，軟組織損傷に対する治療を行うことができれば，歯科治療における偶発症への対応も可能になります。

さらに，今回は口腔外科小手術に関連した知見を最新のものにアップデートすることにより，理論的な裏付けも身につけることができます。

故きを温ねて新しきを知る，そんな盛りだくさんのコースに参加してみませんか。

4. 実 習 ①ブタの顎骨模型を用いた小手術手技実習

②関連した最新知見の講義

5. 実習材料費 15,000円

6. 担当者 里見 貴史教授，澁井 武夫教授，松野 智宣教授および講座員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×，録画×，録音× 9. 研修コード 2702, 2798



里見教授



澁井教授



松野教授

■ 附属病院 顎関節症診療センター・心療歯科診療センター 申込番号：2-4

1. 期 日 令和7年9月7日（日）午前10時～午後5時 ※ランチオンセミナー付き

2. 研修テーマ 顎関節症治療の世界ランキング上位4種を知る！体験する！医院展開する！

- 内 容 (1) 疼痛改善59種，顎運動改善36種のうち評価が高い治療は（講義）
(2) 筋膜トリガーポイントマッサージの体験（実習）
(3) 顎関節部と周囲組織のモビライゼーション体験（実習）
(4) 第3世代認知行動療法および拡張型の臨床応用（講義・実習）
(5) Usual Care（ストレッチ&マッサージのセルフケア）指導（実習）

3. 研修の特徴 多因子疾患といわれて久しい顎関節症は，治療方法も多因子に対応して数多く開発されています。しかし，実際に選択している初期治療といえば，スプリントで様子を見ながら生活習慣の改善指導と強制的な開口訓練，ケースによっては咀嚼筋マッサージを組み合わせているという先生が多いのではないのでしょうか。

比較的，軽症の患者群にはこれらの対応で成果が上がっているかもしれません。しかし，統計的な報告では，顎関節症患者の多くは思うように治らずに転医と転科を繰り返していることが指摘されています。なかなか治らない顎関節症は，歯科領域にとどまらず医科領域でも取り沙汰され，社会的問題となっている現状があります。

当コースでは，インパクトファクターが世界第4位の医学総合誌 The BMJ が2023年に採択した顎関節症治療のガイドラインで，世界的に評価の高い上位4種目（当附属病院でも採用）を病態・メカニズムの最新情報とともに解説，体験し，歯科医院でどのように展開するかを提案します。

4. 実 習 研修テーマの内容に準じます。

5. 実習材料費 5,000円

6. 担当者 原 節宏准教授，岡田 智雄教授および講座員

7. 受講定員 42名 8. 記 録 撮影×，録画×，録音× 9. 研修コード 2802, 2898



岡田教授



原准教授

3. 日本大学歯学部

■ 歯科保存学第Ⅲ講座 申込番号：3-1

1. 期 日 令和7年7月6日（日）午前10時～午後5時 ※ランチオンセミナー付き

2. 研修テーマ ペリオドンタルフラップマネージメント（フラップ手術から再生療法まで）

- 内 容 (1) 歯周外科の理論
(2) 歯周外科の手技
(3) 歯周外科の実践（ブタ下顎骨実習）
(4) 歯周外科の実際



佐藤教授

3. 研修の特徴 高齢社会が進んでいく中、ますます重症の歯周病患者が増えています。そのため重症度の高い歯周病患者の治療では、歯周外科手術を行うことが必要です。そのような患者では歯周組織の再生による治癒が期待できる歯周組織再生療法を行うことが効果的です。

そこで、本研修では日々の臨床で歯周組織再生療法をルーティンに行っていたいただくために必要な知識と実践を学びます。特に、ブタ下顎骨を用いた実習を通して、日常臨床で行う歯周組織再生療法（GTR法、エムドゲイン®ゲル、リグロス®）の手技を習得し、ぜひ明日からの臨床につなげていただきたいと思います。

4. 実 習 歯周組織再生療法を臨床で行うために必要な知識と実際を学びます。

実習ではブタ下顎骨を用いて歯周組織再生療法（GTR法、エムドゲイン、リグロス）の手技を習得します。

5. 実習材料費 20,000円

6. 担 当 者 佐藤 秀一教授および講座員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2504, 2598

■ 歯科保存学第Ⅱ講座 申込番号：3-2

1. 期 日 令和7年7月13日（日）午前10時～午後5時 ※ランチオンセミナー付き

2. 研修テーマ 明日から応用できる最先端エンドドントロジー

- 内 容 (1) Ni-Ti ファイルの安心安全な治療法（講義）
(2) 新しい機器・材料を利用した根管充填法について（講義）
(3) マイクロスコープ使用の秘訣（講義）



武市教授

3. 研修の特徴 近年、歯内療法で使用される機器や薬剤は目覚ましい進歩を遂げ、かつては非常に困難とされていた根管治療も、効率的にかつ比較的短時間で良好な予後が期待できる手法が実践されるようになってきました。しかしながら、日常診療に新たな治療法を導入するのは簡単なようで実は難しく、偶発症等の懸念から一歩踏み出せずにいる臨床医の先生方も多いと思います。

本研修ではそのような思いを払拭すべく、歯内療法の原点から最新の歯内療法につながる内容を企画しております。午前は講義形式で歯内療法を学び、午後は講義内容をさらに充実させたハンズオン形式で実習を行います。

是非、最新の歯内療法を体得し、明日からの臨床にご活用いただければ幸いです。

4. 実 習 ① Ni-Ti ファイルを用いた根管形成法

② CWCT法とバイオセラミック系シーラーを用いたシングルポイント法による根管充填法

③ マイクロスコープを用いた最先端根管治療

5. 実習材料費 20,000円

6. 担 当 者 武市 収教授および講座員

7. 受講定員 36名 8. 記 録 撮影×、録画×、録音× 9. 研修コード 2503, 2598

■ 歯科補綴学第Ⅱ講座（+歯科インプラント科） 申込番号：3-3

1. 期 日 令和7年7月24日（木）午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き

2. 研修テーマ 超初心者のための安全・確実なインプラント治療
～術前検査から外科・補綴手技の基本術式を学ぶ～

- 内 容 (1) インプラント治療を行うための適切な検査・診断
(2) 基本的な外科手技（切開・剥離・縫合など）
(3) インプラント埋入および印象採得・上部構造装着
(4) 高頻度で遭遇する各種トラブル・問題事象への対応方法
(5) 長期的予後のための「力のコントロール＝咬合調整」の勘所



萩原教授

3. 研修の特徴 今までインプラント治療を行ったことはないが、これからインプラント治療を導入していきたいと考えている初学者を対象とした研修会です。

インプラント治療は欠損補綴の選択肢の一つであり、予知性も向上し患者のニーズも増加しています。インプラント治療を安全かつ確実に行うには、術前の検査・診断、外科・補綴手技の基本を修得することが大切です。本研修では『いまさら聞けない』基本的な外科手技（切開・剥離・縫合）とインプラント埋入および印象と上部構造装着までの実習を行います。

また、安心・安全なインプラント治療に不可欠な「包括的検査・診断」およびインプラントの長期的予後に影響を与える咬合管理（力のコントロール・咬合調整）についても学んでいただきます。

4. 実 習 ①基本的な外科手技（切開・剥離・縫合）【皮・骨付き鶏肉，ガム付き模型使用】

②ガム付き専用模型を使用したインプラント埋入および印象採得

③模型を使用したインプラント上部構造の装着

5. 実習材料費 20,000円

6. 担 当 者 萩原 芳幸教授および講座員

7. 受講定員 24名 8. 記 録 撮影×，録画×，録音× 9. 研修コード 2609, 2698

■ 付属歯科病院顎関節症科・ペインクリニック科 申込番号：3-4

1. 期 日 令和7年9月4日（木）午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き

2. 研修テーマ 顎関節症の各病態に対する適切なアプローチ

- 内 容 (1) 顎関節症病態分類の診査・診断（講義・実習）
(2) 顎関節症に対する適切なマネージメント（講義・実習）

3. 研修の特徴 顎関節症は、診断と治療を適切に行わないと、長期にわたり患者さんを苦しめます。また、顎関節症診断の前提として、顎関節症に類似した症状を呈する疾患のスクリーニングを適切に行う必要があります。すなわち、顎関節に関わる疾患では、適切に診断することがもっと大切です。また、治療においては、顎関節症の病態をよく理解し、治療法の適応をしっかりと理解する必要があります。

本研修では、より効果的な顎関節症診療を実践できるよう、日本顎関節学会病態分類に基づく診査の実施とこれに基づく診断・スクリーニング、顎関節症の病態それぞれに対する適切なマネージメント方法を講義、実習から確認します。

【令和6年度開催の研修内容とは異なり、病態ごとの診断、マネージメントに焦点を絞った内容になります。】

4. 実 習 口腔内外診査・診断実習，画像診断実習，理学療法実習，徒手的授動術実習を予定。

5. 実習材料費 5,000円

6. 担 当 者 松本 邦史准教授，野間 昇教授および講座員

7. 受講定員 42名 8. 記 録 撮影×，録画×，録音× 9. 研修コード 2802, 2898



松本准教授



野間教授

4. 東京科学大学

■ 高齢者歯科学分野 申込番号：4-1

1. 期 日 令和7年6月22日(日) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き
2. 研修テーマ 全部床義歯の基礎からインプラントオーバーデンチャーまで
内 容 (1) 全部床義歯の印象(講義)
(2) 口腔内スキャナを用いた義歯スキャン(実習)
(3) 全部床義歯の咬合採得(講義)
(4) インプラントオーバーデンチャー(IOD)のアタッチメント(講義)
(5) IODマグネットアタッチメントの取り付け実習(実習)
3. 研修の特徴 全部床義歯, IODの基礎知識を学びハンズオンを通じて明日から実践できる義歯臨床のコツが身につく研修です。従来の全部床義歯製作は手間や時間がかかる上, 患者の高齢化が進み, 対応が困難なケースが増加していると考えられます。そこで, 応用編としてこれからの全部床義歯治療に取り入れたいのが口腔内スキャナやインプラントの活用です。
口腔内スキャナは初めての方でも大丈夫です! 本研修では口腔内スキャナを利用して簡単に義歯の3Dデータを取得する方法をハンズオンで実践します。
また, IODの概要とさまざまなアタッチメントの取り扱いについても解説し, 実際にIODへのマグネットの取り付けについて, ハンズオンを実施します。
4. 実 習 ①口腔内スキャナ(3Shape)を用いて, 義歯スキャンを実践する。
②無歯顎模型を用いて, インプラントオーバーデンチャーへの磁性アタッチメントの取り付け実習を行う。磁性アタッチメントを装着した義歯と模型は, 実習後に各自持ち帰り, 患者さん向けの説明用に使用可能です。
5. 実習材料費 10,000円
6. 担 当 者 金澤 学教授および講座員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2608, 2698



金澤教授

■ 摂食嚥下リハビリテーション学分野 申込番号：4-2

1. 期 日 令和7年7月10日(木) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き
2. 研修テーマ 外来と訪問をつなぐ摂食嚥下リハビリテーションの実践知
内 容 (1) 摂食嚥下リハ総論(講義)
(2) 歯科訪問診療での摂食嚥下リハ・専門医との効果的な連携(講義)
(3) 口腔内装置実習(PAPと舌圧)
(4) 口腔内装置実習(Voice Retriever)
(5) 嚥下内視鏡・食形態調整(とろみづけなど)実習
(6) グループワーク(外来から訪問診療になってしまった)
3. 研修の特徴 長年, 通院されていた患者さんが来院できなくなり, 仕方なく訪問診療に出向いたという経験はありませんか。最期まで診たいと思っても, 在宅現場では「歯が痛い」や「義歯が痛い」から「食べられない」に主訴が変わり, 難しさに直面した経験はありませんか。要介護高齢者が増加していく日本において, そんなケースは日常茶飯事になります。そんな時, 心強いのが摂食嚥下リハビリテーションの知識と技術です。本研修は, 舌接触補助床などの口腔内装置, 嚥下内視鏡検査など実技を含めた実践的な構成です。
一方で, 座学や実習で「わかる」とことと実臨床は大きく異なり, 最初の一步に躊躇される先生も少なくありません。東京都でご開業の先生方にお勧めしたいのは, 摂食嚥下リハを専門とする歯科医師との連携です。
本研修では, グループワークを通じて, 当科への依頼法や連携のコツを含め, 外来診療から訪問診療に至るまでご自身の地域を支えるための実践知をお伝えいたします。
4. 実 習 ①嚥下内視鏡実習
②とろみ付け実習
③嚥下調整食実食
④舌圧など口腔機能, 舌接触補助床などの口腔内装着実習
⑤グループワーク(外来から訪問診療になってしまった)
5. 実習材料費 10,000円
6. 担 当 者 戸原 玄教授および講座員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 3405, 3498



戸原教授

■ 咬合機能健康科学分野 申込番号：4-3

1. 期 日 令和7年7月17日(木) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き

2. 研修テーマ パーシャルデンチャーの基本設計

- 内 容 (1) パーシャルデンチャーの設計原則 (講義)
 (2) 実際の症例診断と設計演習 (実習)
 (3) 模型のサベイングと設計線記入 (実習)
 (4) ノンメタルクラスプデンチャーの臨床指針と設計 (講義と実習)



笹木教授

3. 研修の特徴 高齢化に伴い部分歯列欠損に対する補綴治療としてパーシャルデンチャーの需要は今後も大きいものと考えられる。さらには近年では、パーシャルデンチャーに対しても審美性を求めるケースが増えてきている。

パーシャルデンチャーの治療を成功するためには、歯の欠損の多様性に加え、残存歯の状態、対合歯の状況など多数の因子を考慮して適切に義歯を設計する必要がある。本研修では、パーシャルデンチャーの設計の基本原則を再確認して、実際の症例を用いた紙上での設計演習、模型のサベイングと義歯の設計線の記入を行う。さらに、熱可塑性樹脂を用いたパーシャルデンチャー(ノンメタルクラスプデンチャー)の臨床指針ならびに義歯設計の留意点について理解を深める。

4. 実 習 ①義歯の設計立案(紙上設計)
 ②模型のサベイングと設計線の記入

5. 実習材料費 10,000円

6. 担 当 者 笹木 賢治教授および講座員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2608, 2698

■ 口腔再生再建学分野 申込番号：4-4

1. 期 日 令和7年8月7日(木) 午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き

2. 研修テーマ サージカルガイドを用いた安心、安全なインプラント埋入

- 内 容 (1) 適切なインプラントポジションの重要性 (講義)
 (2) シミュレーションソフトを用いた埋入シミュレーション (実習)
 (3) インプラント埋入に関する切開・剥離・縫合の基本 (実習)
 (4) サージカルガイドを用いたインプラント埋入 (実習)
 (5) さまざまなガイドを使用したインプラント治療の実際 (講義)



丸川教授

3. 研修の特徴 現代のインプラント治療では、長期的な予後と審美性を獲得するために、補綴主導型の適切なインプラントポジションが求められています。不適切な埋入ポジションは、インプラント周囲炎の原因ともなるため、非常に重要です。本研修では、講義を通じて適切なインプラントポジションの重要性を体系的に理解していただきます。

その後、シミュレーションソフトを使用し、CTデータを基にした埋入計画を立案する実習を行います。骨質や解剖学的特徴を考慮した最適なプランニングの方法を習得します。さらに顎模型を用いた実践的な実習では、基本的な外科手技の実践をはじめ、サージカルガイドを用いたガイドドサージェリーの操作手順やポイントを体験していただきます。また具体的な症例をもとにガイドの有用性や限界、症例ごとの選択のポイントを学ぶことで、安全かつ安心なインプラント治療の実践力を高めていただきます。

本研修は、これからインプラント治療に取り組みたい方や、ガイドを用いた手技を習得したい方にとって、基礎から応用までを包括的に学べる内容です。

4. 実 習 適切なインプラントポジションの重要性を理解していただき、シミュレーションソフトを用いた埋入計画の実習、講義を通じて、ガイドドサージェリーを習得していただく。

5. 実習材料費 20,000円

6. 担 当 者 丸川 恵理子教授および講座員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2609, 2698

5. 昭和医科大学

■ 全身管理歯科学講座 医科歯科連携歯科学部門 申込番号：5-1

1. 期 日 令和7年7月3日(木) 午前10時～午後5時 ※ランチオンセミナー付き
2. 研修テーマ 有病者の歯科治療におけるポイントと医療連携
内 容 (1) 薬剤関連顎骨壊死・顎骨骨髓炎 2023 ポジションペーパーでの対応
(2) 有病者の歯科治療に必要な内科の知識と診療時のポイント
(3) 診療情報提供書の読み方・書き方と保険算定
(4) 医療現場に役立つ心理学
(5) 生体モニターの使用方法(実習)
(6) 止血法(縫合, 止血シーネ, サージカルパック)(実習)
(7) 患者急変時の対応(AED, 胸骨圧迫, エピペン/アドレナリンの使用法)(実習)
3. 研修の特徴 「この患者さんは循環器の病気を持っているけど、うちのクリニックで治療して大丈夫かな?それとも大きな病院に紹介した方がいいかな?」と悩まれたことはないでしょうか。超高齢社会である日本においては、歯科医院を受診する多くの患者が何かしらの全身疾患を持っていると考えられます。そのような患者に対しては歯の疾患の診断をするだけではなく、歯科治療に影響を及ぼす全身状態のリスク診断をすることがとても重要になります。
今回の講義では、全身疾患を持った患者を安全・安心に治療するために、全身状態のリスク診断に必要な内科的疾患の基礎的な知識と歯科治療時の注意点を中心に、口腔内に影響を及ぼす全身疾患と内服薬、医療現場に役立つ心理学、さらに医療連携について解説を行います。
午後の実習では、生体モニターの使用法、簡単にできる止血方法、緊急時の対応について習得していただきます。受講後には、有病者の歯科治療を安全・安心に行える知識が身に付くことと思います。
4. 実 習 ①生体モニターの使用法
②止血法(縫合, 止血シーネ, サージカルパックなど)
③患者急変時の対応(AED, 胸骨圧迫, エピペンの使用など)
5. 実習材料費 5,000円
6. 担 当 者 マイヤース三恵准教授および講座員
7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 3402, 3498



マイヤース准教授

■ 歯科保存学講座 歯内治療学部門 申込番号：5-2

1. 期 日 令和7年8月24日(日) 午前10時～午後5時
2. 研修テーマ ベーシックエンドを再考する -再根管治療の勘どころ-
内 容 (1) 歯根と根管の解剖
(2) 根尖性歯周炎とは
(3) 根管治療の基本手技
(4) 再根管治療のポイント
(5) マイクロスコープの有用性
3. 研修の特徴 歯内治療の分野は、マイクロスコープやコーンビームCTの導入、NiTiファイルの進歩などによって、近年大きな進化を遂げてきており、歯内治療の専門性は以前よりも高まっています。一方で、難治症例にお困りの先生方も数多くいらっしゃると思います。最新器材を使用しても、歯内治療の基本はやはり無菌的処置と徹底した根管内の清掃であることに変わりはありません。
本研修では、なかなか話を聞く機会が少ない歯内治療の基本的手技や考え方について、現在のスタンダードといえる方法を改めて確認していただいたうえで、実際に歯牙模型を使用したベーシックな実習を行っていただきます。また、本邦では特に多い再根管治療についてもフォーカスします。適宜マイクロスコープを用いて確認をしながら実習を行っていただきます。
本研修会における講義、症例供覧そして実習は、皆様の明日からのエンド臨床に必ず役立つことと思います。
4. 実 習 ①歯牙模型を用いた根管形成実習
(ラバーダム防湿, 髓腔開拓, 手用ファイルを用いた根管形成, ガッタパーチャ除去)
②適宜マイクロスコープによる観察
5. 実習材料費 20,000円
6. 担 当 者 鈴木 規元教授および講座員
7. 受講定員 32名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2503, 2598



鈴木教授

■ 口腔解剖学講座 申込番号：5-3

1. 期 日 令和7年8月31日(日)午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き

2. 研修テーマ 臨床上重要となる口腔解剖学の再確認

- 内 容
- (1) 臨床上重要となる口腔周囲・口腔内の構造(講義)
 - (2) 頭蓋骨・頭蓋分離骨の観察(実習)
 - (3) プラスティネート標本による観察(実習)
 - (4) 3D人体バーチャル解剖台による観察(実習)



野中教授

3. 研修の特徴 学生時代に学んだ口腔解剖学と解剖実習を振り返り、頭頸部の構造について特に歯科臨床の場で重要となる部分に焦点をあて講義・実習を行います。口腔とは、口唇を入口として、中には歯、歯肉、上面を口蓋、下面を舌と舌下粘膜、側面を頬粘膜ならびに口蓋扁桃と口峽の筋などで囲まれた腔であり、その腔には唾液腺の開口部、脈管(動脈・静脈・リンパ管)、神経が分布します。これらの器官や構造について解説するとともに、有菌顎・無菌顎での骨の形態変化、そしてインプラントの植立や抜歯に際して解剖学的構造上注意すべき点についても解説します。

実習では、頭蓋骨・頭蓋分離骨の観察、プラスティネート標本(シリコン樹脂を含浸した標本)に触れていただき、臨床上重要となる脈管・神経について口腔内での位置関係を確認します。そして受講される先生方に学生時代の解剖実習をリアルに想起していただくために、等身大ディスプレイに表示される3D人体バーチャル解剖台(アナトマージテーブル)を使用します。指でのワンタッチ操作で切開・復元を行うことができ、回転・拡大・縮小また血管や神経のみを剖出することも可能です。今回は頭頸部だけではなく、全身についても興味ある部位を観察していただきます。

4. 実 習 頭蓋骨・分離骨の観察、プラスティネート標本の観察,3D人体バーチャル解剖台による実習をグループに分かれ行う。

5. 実習材料費 1,000円

6. 担 当 者 野中 直子教授および講座員

7. 受講定員 40名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2201, 2298

■ インプラント歯科学講座 申込番号：5-4

1. 期 日 令和7年9月28日(日)午前10時～午後5時 ※ランチョンセミナー付き

2. 研修テーマ 現代のインプラントトラブルのリカバリーと予防策

- 内 容
- (1) 現代のインプラントトラブルの特徴
 - (2) 外科的トラブルとリカバリー法
 - (3) 補綴学的トラブルとリカバリー法
 - (4) インプラント周囲炎とその対応
 - (5) 患者クレームへの対応
 - (6) インプラントトラブルの予防策



宗像教授

3. 研修の特徴 本研修では、「現代のインプラントトラブルのリカバリーと予防策」をテーマに前半は、現代のインプラントトラブルの特徴について解説していくとともに、サイナスリフトやGBR等の外科的トラブルやインプラント体破折やスクリュー破折等の補綴学的トラブルとリカバリー法について臨床写真や動画を交えて解説します。

さらに後半では、現代のインプラントトラブルの問題にもなっている最新の治療方法(all-on-fourに代表される即時荷重や抜歯即時埋入、ソケットプリザベーションや軟組織移植等)の適応選択と問題点、外科手技に応じた骨移植材料の選択方法、長期予後を脅かすインプラント周囲炎に対する新しい診断基準と治療方法、訴訟や患者クレームに関わる同意書作成のポイントや保証の在り方について解説するとともに、顎模型を用いた外科実習(インプラント周囲炎治療やGBR)を実施していきます。

4. 実 習 事前に製作したインプラント周囲炎を想定した顎模型を使用し、骨欠損に対応したデブライドメントやプラスティ、再生療法について講義とともに行います。

5. 実習材料費 20,000円

6. 担 当 者 宗像 源博教授および講座員

7. 受講定員 50名 8. 記 録 撮影×, 録画×, 録音× 9. 研修コード 2609, 2698

都歯ハンズオン研修への申込方法

【都歯オンライン研修アプリからお申し込みの場合】

東京都歯科医師会
会員の方は、
アプリ下段中央の
「イベント」より
お申し込みください。



【WEBからお申し込みの場合】

本会ホームページ（ ）の
「イベント・講習会等情報」をクリックして
「参加申し込みフォーム」よりお申し込みください。



こちらからも
研修会のお申
込みができます

【FAXでのお申し込みの場合】

本冊子 p.1，もしくは本会会誌3月号・4月号の
申込書へ必要事項をご記入の上、
FAX（03-3262-4199）で
お申し込みください。

